

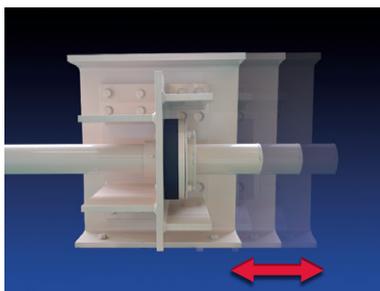
パイプ型落橋防止システム



※写真右側のパイプの切り欠きはサンプルです。

シンプルなスタイル

従来品は桁の伸縮に対してバネで追従させてきましたが、パイプをスライドさせることで伸縮に対応。また、ロープの曲げに対しては偏向具ではなく、パイプの塑性変形に対応させるシンプルな構造になっています。



伸縮の追従

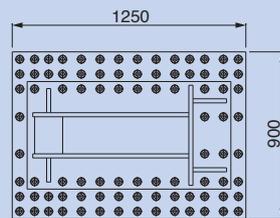


ロープの曲げ変形

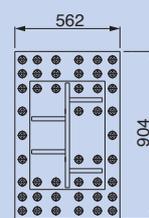
コンパクト設計

偏向具を必要としないためコンパクト化を実現。スペースが狭く、従来のブラケットでは設置が困難だった箇所にも設置することが可能です。

外形寸法の比較(例:600kNで計算)



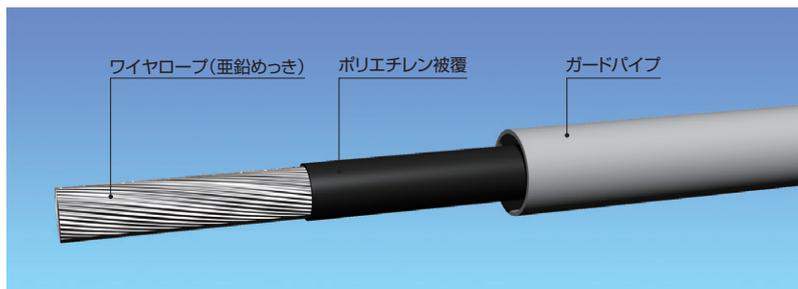
従来型落下防止システム



パイプ型落橋防止システム

抜群の耐久性

従来使用されているPC鋼より線はポリエチレン被覆が主流です。本製品は、ロープ自体にめっきが施しており、さらにポリエチレン被覆、パイプの3重防食を実現。高い防食性能を確保します。



3重防食のイメージ図



東京製綱



東網橋梁

